

第1回 真駒内駅前地区景観ミーティング

2025. 08. 23



1 真駒内駅前地区について

2 真駒内駅前地区まちづくり計画について

3 景観デザインガイドラインについて

4 本日のグループワークについて



1 真駒内駅前地区について

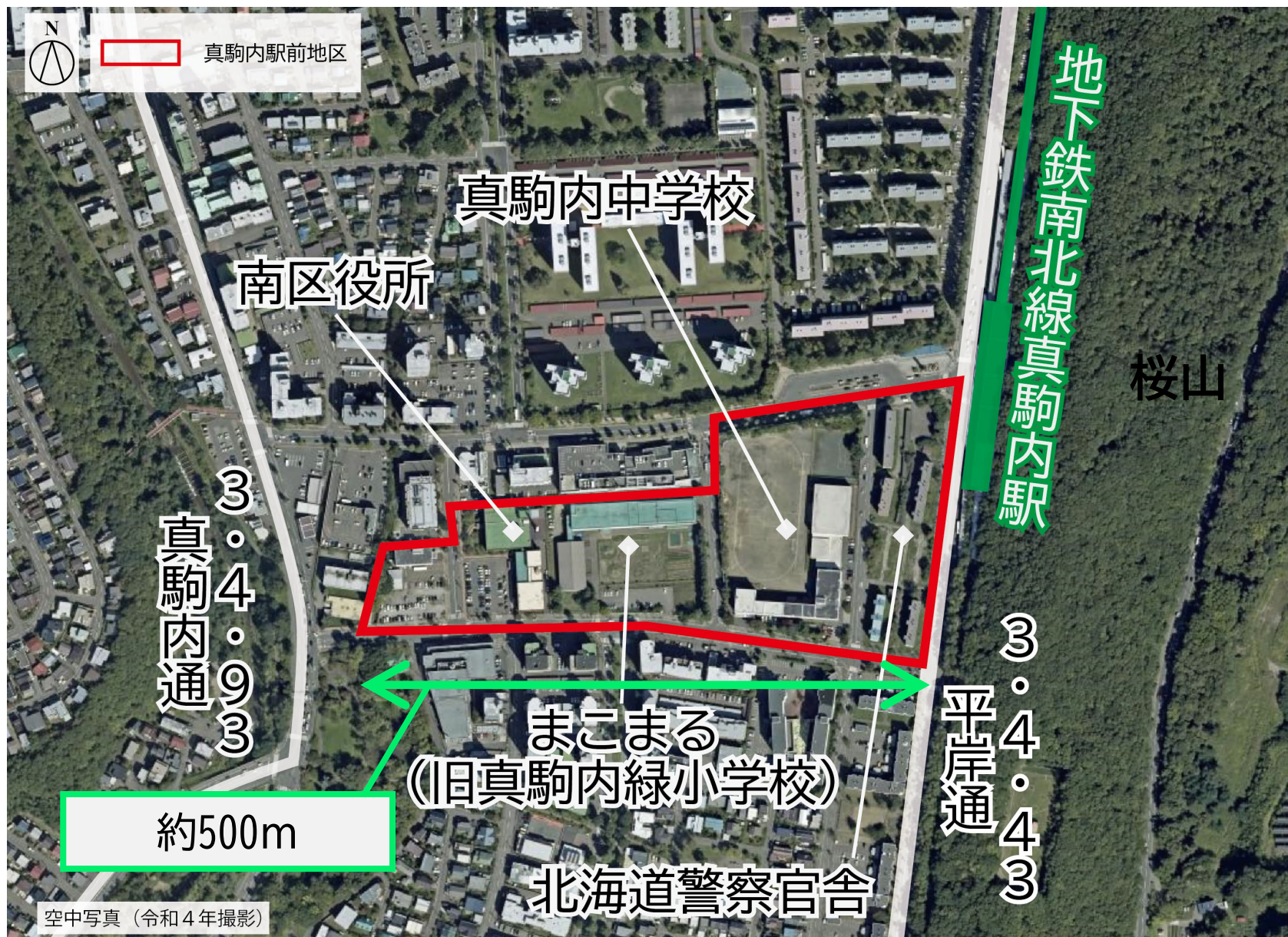
2 真駒内駅前地区まちづくり計画について

3 景観デザインガイドラインについて

4 本日のグループワークについて



地区の概要



1 真駒内駅前地区について

2 真駒内駅前地区まちづくり計画について

3 景観デザインガイドラインについて

4 本日のグループワークについて



基本方針

1

“あらゆる世代が豊かに暮らせる
持続可能なまち” の拠点

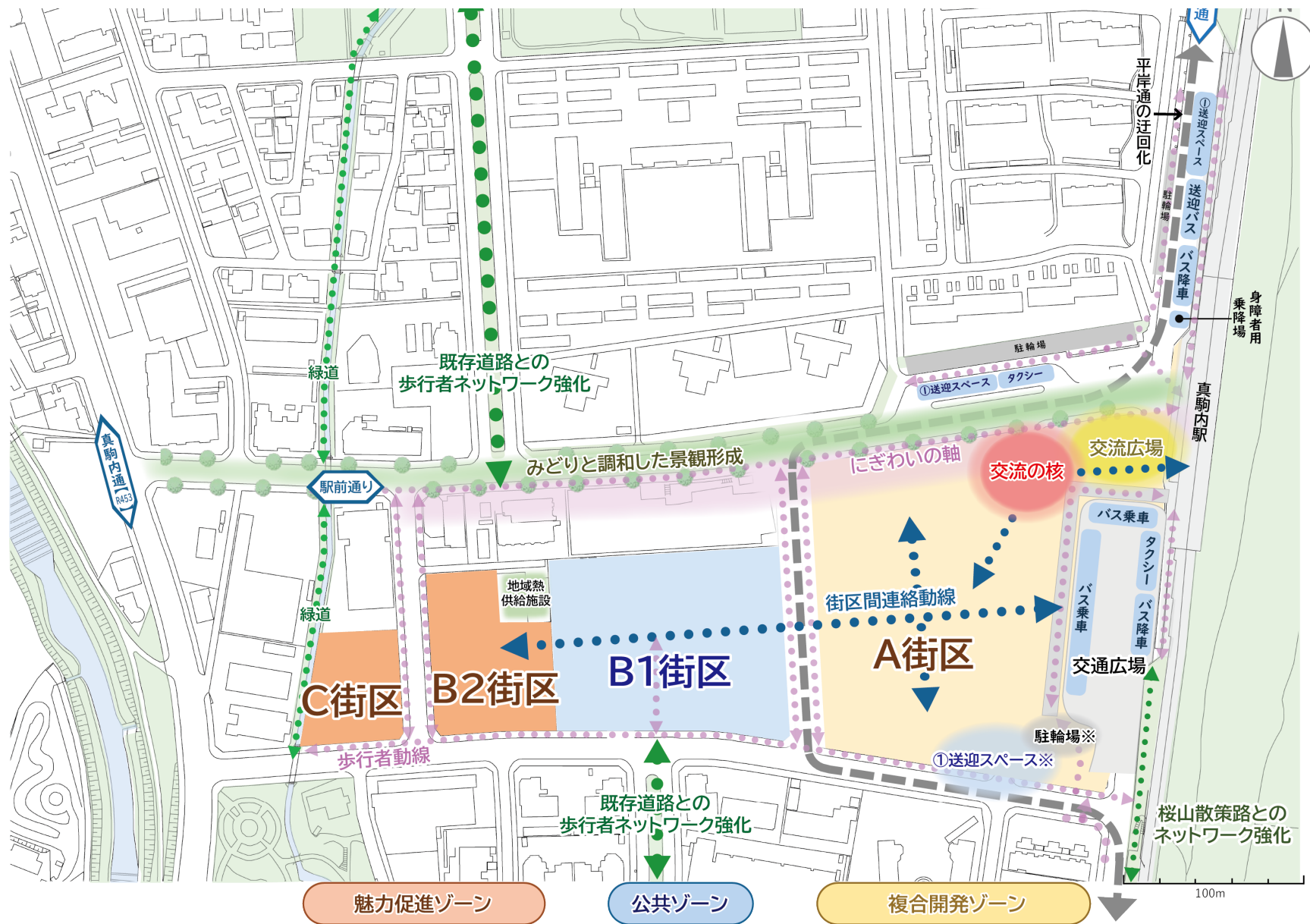
2

“歩いて暮らせるまち” の拠点

3

“地域独自の魅力を生かした
特徴あるまち” の拠点

真駒内駅前地区の土地利用の考え方（各街区の機能）



真駒内駅前地区の土地利用の考え方（各街区の機能）

B2・C街区

<真駒内独自の魅力を活用・向上させる機能の導入>

【想定される多様な機能】

- A街区を補完する機能
（商業、医療・福祉、住宅など）
- 教育機能や創造活動に資する機能
- スポーツなど健康づくりに資する機能
- B1街区以外の公的機能 など

B1街区

<行政機能・公共サービス機能の集積・複合化>

【集積・複合化する機能】

- 南区役所等の行政機能
- 南区民センター等のコミュニティ機能
- その他子育て支援、情報発信、交流等を促す機能 など

A街区

<南区民の豊かな生活を支える都市機能の集積>

【駅直近に配置する機能】

- 交流広場 ○交通広場

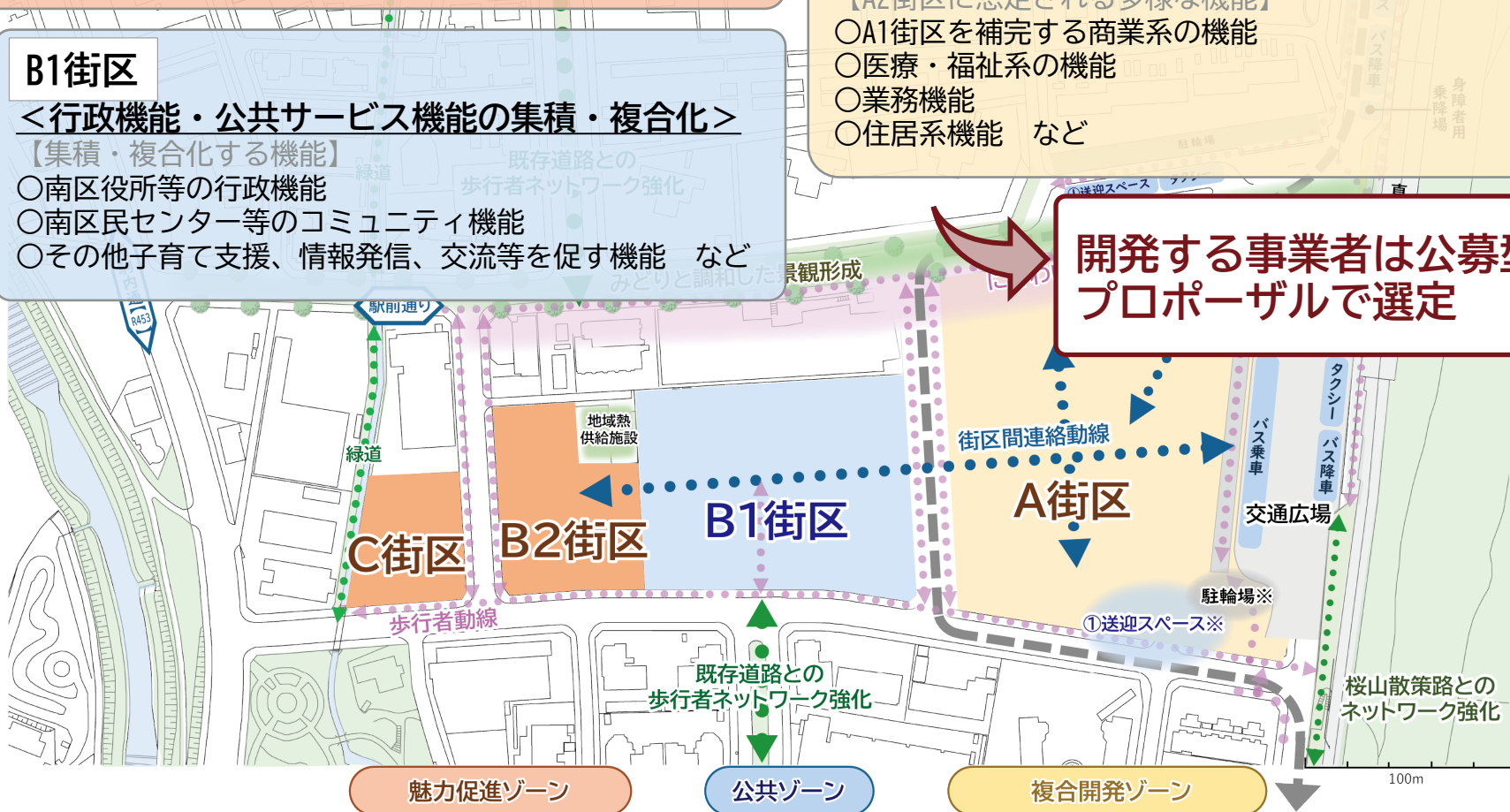
【A1街区に導入を図る機能】

- にぎわいの核となる商業系の機能
（買物、飲食、サービスなど）
- 交流広場と連携し地域コミュニティの形成に資する機能など

【A2街区に想定される多様な機能】

- A1街区を補完する商業系の機能
- 医療・福祉系の機能
- 業務機能
- 住居系機能 など

開発する事業者は公募型
プロポーザルで選定



真駒内駅前地区の土地利用の考え方（イメージ）



まちづくり計画のみどり・景観の考え方

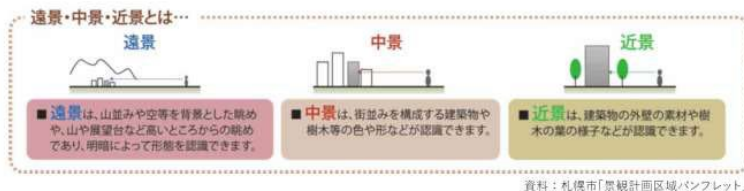
第5章 まちづくりを支える取組

5-1 みどり・景観形成

真駒内地域は、行政施設などが集積している一方で、みどりや河川、公園などの豊かな自然に囲まれ、都市機能と自然との調和が特徴的な地域です。

本計画に示す土地利用再編においても、これらの貴重な地域資源である豊かな自然を生きし、真駒内地域らしい魅力ある都市空間の形成を目指します。

前述の「まちづくりの基本方針」や「再編コンセプト」を踏まえ、遠景、中景、近景における景観形成の考え方を整理しました。



(1) 遠景

○周辺の山並みの見通しへの配慮

駅前通りから東側(真駒内駅側)を眺めた際の桜山の見え方、真駒内駅から西側(真駒内川側)を眺めた際の南区の山並みの見え方を尊重した建物の形状や配置に配慮します。

(2) 中景

○真駒内地域らしい豊かなみどりと調和した景観の形成

自然豊かな真駒内地域の街並みの良さをさらに高めるため、既存の街路樹などに加え、積極的に各敷地内の緑化を図ります。また、建築物の色彩などについても街並みとの調和を意識します。

(3) 近景

○開放的でにぎわいを創出する駅前にふさわしい顔づくり

駅前の交流広場は真駒内の顔、南区の玄関口であるため、開放的でにぎわいを創出する駅前にふさわしいまちの顔づくりを推進します。

真駒内駅前のシンボルとして親しまれている時計塔などについても、引き続き駅前にふさわしい顔づくりのために活用していきます。

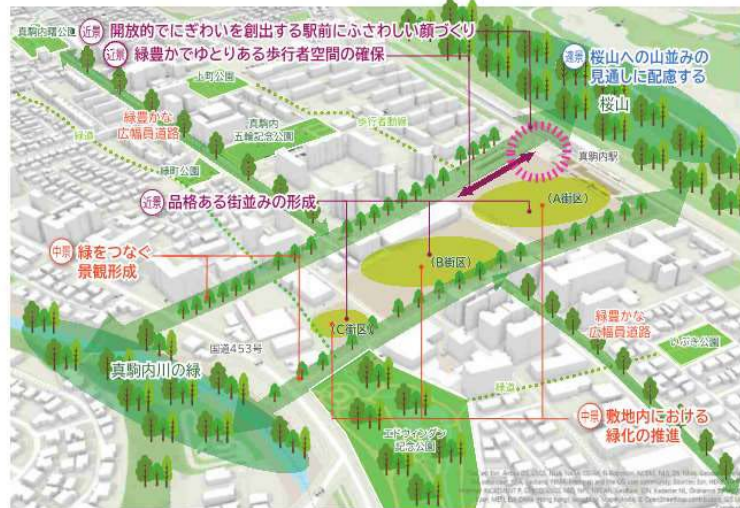
○緑豊かでゆとりある歩行者空間の確保

駅前通りは、交流広場との連続性や道路の景観等を意識しながら、みどり豊かでゆとりある歩行者空間を確保し、駅前地区から周辺の地区への回遊性向上を図ります。また、新たに建てられる建築物には、駐車場出入口や業務用搬入口などの配置にも配慮します。

○品格ある街並みの形成

駅前地区に立地する建築物は、周辺の自然環境と調和するよう、落ち着いた色彩や素材等の選定を行い、地域特性に応じた魅力的な景観形成を図ることで、品格ある街並みの形成を目指します。

■真駒内駅前地区におけるみどり・景観形成のイメージ



◆景観まちづくり指針の策定検討について

札幌市では、平成29年2月に策定した札幌市景観計画において、地域住民等が主体的に関わる「景観まちづくり」を推進し、景観まちづくりの方向性などについて市民・事業者などの協働により検討した内容を札幌市景観条例に基づく指針として位置付ける「景観まちづくり指針^{※27}」の制度を創設しました。

今後、地域特性を踏まえたより魅力的な景観まちづくりを進めるため、真駒内地域における「景観まちづくり指針」の策定に向けた検討を進めていきます。

※27【景観まちづくり指針】これまで7つの地区で作成されており、「目標・方針」「対象区域(景観まちづくり推進区域)」「景観形成基準」「届出対象行為」「景観まちづくり活動」等を定めています。

1 真駒内駅前地区について

2 真駒内駅前地区まちづくり計画について

3 景観デザインガイドラインについて

4 本日のグループワークについて



景観デザインガイドラインの役割

真駒内駅前地区 まちづくり計画

～5-1 みどり・景観形成～



取組を具体化

景観デザイン ガイドライン

実際の施設計画で
配慮すべき内容を示す

基本の考え方

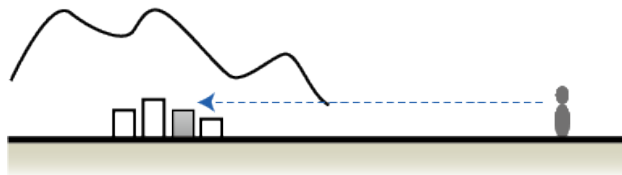
真駒内地域は、行政施設などが集積している一方で、みどりや河川、公園などの豊かな自然に囲まれ、都市機能と自然との調和が特徴的な地域です。

本計画に示す土地利用再編においても、これらの貴重な地域資源である豊かな自然を生かし、真駒内地域らしい魅力ある都市空間の形成を目指します。

「まちづくりの基本方針」や「再編コンセプト」を踏まえ、遠景、中景、近景における景観形成の考え方を整理します。

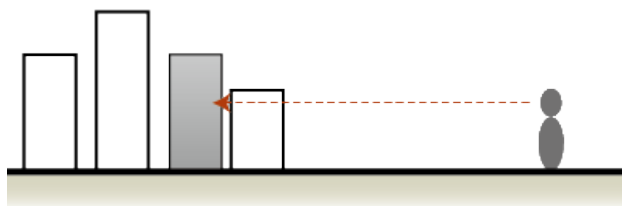
まちづくり計画におけるみどり・景観の考え方

遠景



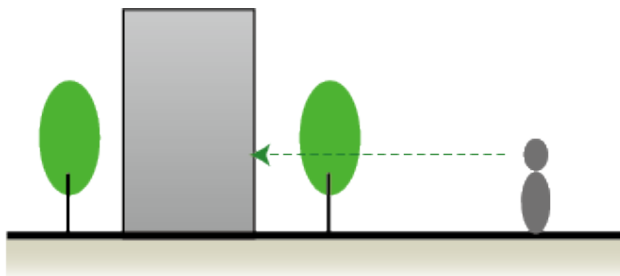
山並みや空等を背景とした眺めや、展望台など高いところからの眺めであり、明暗によって形態を認識できます。

中景



街並みを構成する建築物や樹木等の色や形などが認識できます。

近景



建築物の外壁の素材や樹木の葉の様子などが確認できます。

まちづくり計画におけるみどり・景観の考え方

遠景

- ✓ 周辺の山並みの見通しへの配慮

中景

- ✓ 真駒内地域らしい豊かなみどりと調和した景観の形成

近景

- ✓ 開放的にぎわいを創出する駅前にふさわしい顔づくり
- ✓ 緑豊かでゆとりある歩行者空間の確保
- ✓ 品格ある街並みの形成

まちづくり計画におけるみどり・景観の考え方

✓ 真駒内駅前地区におけるみどり・景観形成のイメージ



景観デザインガイドラインの活用

公募型プロポーザル

事業者による事業提案

A社

開発
コンセプト

事業計画

施設計画

B社

開発
コンセプト

事業計画

施設計画

C社

開発
コンセプト

事業計画

施設計画

事業者の決定

景観デザイン
ガイドラインへの準拠

有識者・地域関係者等の
審査委員会で
最も優れた提案を選定

景観デザインガイドライン策定までの流れ

第1回 景観ミーティング

日程：8月23日（土）

内容：「真駒内駅前地区で大切にしたい景観」についての意見交換
～今の景観／未来の景観～

地域の皆様が大切にしたいと考える
景観をもとに

第2回 景観ミーティング

日程：10月25日（土）

内容：「景観デザインガイドラインに示す
景観配慮のポイントと手法例」についての意見交換

地域の皆様からいただいた
ご意見を参考に

「景観デザインガイドライン」策定

1 真駒内駅前地区について

2 真駒内駅前地区まちづくり計画について

3 景観デザインガイドラインについて

4 本日の意見交換について



「真駒内駅前地区で大切にしたい景観は」 ～今の景観／未来の景観～

◆タイムスケジュール◆

①意見交換

▶前半～ 今の景観：大切にしたいと思う景観は？

- ・自己紹介 … 5分
- ・個人ワーク … 5分
- ・個人発表 … 10分
- ・意見交換・まとめ … 10分

▶後半～ 未来の景観：こんな景観になったらいいな！

- ・個人ワーク … 5分
- ・個人発表 … 10分
- ・意見交換・まとめ … 10分

②グループ発表 … 20分

第1回 景観ミーティング

日程：8月23日（土）

内容：「真駒内駅前地区で大切にしたい景観」についての意見交換
～今の景観／未来の景観～

地域の皆様が大切にしたいと考える
景観をもとに

第2回 景観ミーティング

日程：10月25日（土）

内容：「景観デザインガイドラインに示す
景観配慮のポイントと手法例」についての意見交換

地域の皆様からいただいた
ご意見を参考に

「景観デザインガイドライン」策定



ありがとうございました

2025. 08. 23